

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○自動運転等の新技術導入に向けた取組の促進
主な取組	自動運転移動サービスの導入促進		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・人々のライフスタイルの変化に対応するため、自動運転技術、MaaS、ドローン等の新技術の導入を促進するとともに、新技術等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
自動運転移動サービスの導入に向け、市町村と意見交換会の開催や市町村向けの情報発信を行い、導入を促進する。	県,市町村等	自動運転移動サービス導入に向けた市町村向け意見交換会の開催や情報発信		
		市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

その他

—

—

令和7年度活動内容

自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの意見交換会の開催や情報発信を実施する。

(単位：千円)

予算事業名

—

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

—

令和8年度活動計画

自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの意見交換会の開催や情報発信を実施する。

活動指標名

市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数（累計）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

2回

2回

100.0%

順調

自動運転移動サービス導入に向けて市町村と意見交換等を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数（累計）について、沖縄県地域公共交通協議会等に参画し、目標2回に対し実績2回で市町村における自動運転移動サービス導入の促進に努めた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○当該取組の機運醸成に向けて、各市町村が抱える課題等に関連する情報発信等の強化を図る。

○沖縄県地域公共交通協議会等に参画し、市町村等との意見交換や情報収集に取り組んだ。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	自動運転の導入に向けて市町村の課題を把握し、取組への理解を深める情報を発信する必要がある。令和8年度は、県外同規模自治体の事例や地域の課題解決事例等、市町村の機運醸成に繋がる情報を提供する。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、自動運転に関する最新情報を収集し、県外の同規模自治体の事例や地域課題の解決事例等を各市町村へ発信する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○公・民・学連携によるまちづくりの促進
主な取組	公・民・学の連携による交通・まちづくりの取組促進		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・本県の地域実情に応じたスマートシティの形成を念頭に、SDGsやSociety5.0に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
Society5.0等に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等に参画する。	県,市町村等	Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等への参画		
		参画する取組等の数(内訳)		
		1件(継続1件)	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

その他

—

—

令和7年度活動内容

地域振興や公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集をしながら、公・民・学の連携による取組に参画する。

(単位：千円)

予算事業名

—

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

その他

—

令和8年度活動計画

地域振興や公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集をしながら、公・民・学の連携による取組に参画する。

活動指標名

参画する取組等の数（内訳）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

1件

1 件（継続 1 件）

100. 0%

順調

PFI制度の活用検討をしているマリンタウンMICEエリアにおいて、「大型MICEエリア振興に関する協議会」の協議会員等として、取組に参画した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
PFI制度の活用検討をしているマリントウンMICEエリアにおいて、「大型MICEエリア振興に関する協議会」の協議会員等として、地域の振興、まちづくりおよび交通対策に関する取組に参画した。また、当部所管の公共施設に対するPPP・PFI制度の活用に向けての情報収集を実施し、当部内における勉強会の開催や情報共有をしたことから、取組は順調と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実施改善案	反映状況
○引き続き協議会等に参加し、Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けて課題等の把握に向けて情報収集を実施する。	○令和7年12月に「大型MICEエリア振興に関する協議会」の幹事会と令和8年3月に同協議会の作業部会に参加し、Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けて、県有施設へのPPP・PFIの利活用における課題等の情報を収集したことで、公・民・学の連携への理解を深める機会とした。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	令和7年度までの進捗状況が順調であることから、将来的なSociety5.0等に対応する地域等の構築に際して、他都道府県の事例も含めて想定される課題等の収集とその解決手法を検討する。	⑧ その他	将来的なSociety5.0等に対応する地域等の構築に際して、想定される課題等の解決に向けて、既存の公・民・学の連携による取組に参画し、関連する情報収集等の強化を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○脱炭素社会に向けた多様なモビリティの利用促進
主な取組	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・人口が集中する本島中南部地域においては、公共交通利用や多様なモビリティを利用するライフスタイルへの転換に向けて、バス、モノレール、カーシェアリング、自転車利用、コミュニティバス、福祉交通等の移動抵抗の小さい交通手段の導入やパーク・アンド・ライドの利用の促進等に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。	県	パンフレットの配布等の周知活動によるパーク・アンド・ライドの利用促進		
		パンフレット配布回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名				—			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
—	—						
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画			
指定管理者による駐車場の管理・運営の取組として、利用促進に向けた広報活動を行った。				引き続き指定管理者において、幅広い方法で周知活動に取り組み、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。			

活動指標名	パンフレット配布回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	1回	1回	100.0%	順調	令和7年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わりデジタルサイネージによる周知活動を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和7年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わり、デジタルサイネージによる周知活動を行った。周知活動の効果等もあって、令和7年度の同駐車場の入庫台数は250,996台と令和7年度目標値を上回る状況となっており、同駐車場の利用促進は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○・利用者の増加に対応するため、駐車場情報（満車空車情報）の提供を実施する。	利用の際の目安となるよう指定管理者のホームページに同駐車場の平均的な混雑イメージを「駐車場混雑の目安」として掲載したが、ホームページの仕様等の課題もあり、リアルタイムでの満車空車情報の提供には至らなかった。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	利用者の増加に伴い、満車となる日が出てきている。駐車場に來たものの駐車ができないということが続けば、パークアンドライドを諦め、最初から車で中心部へ向かうことを考える利用者が出る可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	利用者の増加に対応するため、駐車場情報（リアルタイムの満車空車情報）の提供に向け、引き続き指定管理者と検討を行っていく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	②公共交通システムの戦略的再編
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの輸送力増強
主な取組	沖縄都市モノレール輸送力増強事業		対応する成果指標	公共交通利用者数
施策の方向	・過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を図るため、定時速達性に優れた幹線公共交通機関としてモノレールの輸送力の増強に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
沖縄都市モノレールの時間当たりの最大混雑率を120%未満に抑えるため、2両1編成の車両を3両1編成化し、輸送力の増強を図る。また、これと併せて車両を留置する新車両基地を整備する。	県,那覇市,浦添市,事業者	輸送力増強に向けた3両編成車両の整備(車両整備、新車両基地整備、既存駅舎の改築等)		
		3両編成車両運行開始数(累計)		
		1編成	2編成(3編成)	2編成(5編成)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課		【 098-866-2408 】	関連URL —

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の目標であった3両編成車両1編成の運行開始については、令和8年3月に3両編成車両1編成分を追加で運行開始し、目標を達成した。今後も利用者のさらなる増加が見込まれることから、新車両基地の整備等に取り組み、残りの3両編成車両の一日も早い運行開始を実現し、利便性の向上を推進する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
運行事業者と連携を密にし、新車両基地の運航開始に係るリスク要因の把握に努めるとともに、3両編成車両の重要点検に影響が生じないよう、工事工程の短縮に向けた調整等を行う。	運行事業者に対し毎月の工事進捗を確認するとともに、関係者間での工事進捗等の情報共有を図るなど工程管理を適切に行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	現在、導入済みの3両編成車両の重要点検が令和8年度に控えており、それまでに新車両基地の供用開始が必要となるため、適切な工程管理が必要である。	② 連携の強化・改善	引き続き、運行事業者等との工程管理を密に行い、3両編成車両の重要点検に影響が生じないよう新車両基地の供用開始に向け連携して取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○世界水準の観光地に相応しい沿道景観の形成
主な取組	沖縄フラワークリエイション事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・ 主要道路及び観光地へのアクセス道路等については、適正な植栽管理、飾花を行い、世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成や、周辺環境と調和のとれた沖縄らしい風景づくりに重点的に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観を向上させる。	県	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上		
		草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)		
		43路線	43路線(継続43路線)	43路線(継続43路線)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄フラワークリエイション事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

563, 827

562, 929

令和7年度活動内容

観光地へアクセスする道路43路線の緑化・重点管理を推進した。

(単位：千円)

予算事業名

沖縄フラワークリエイション事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

567, 069

令和8年度活動計画

観光地へアクセスする道路43路線の緑化・重点管理を推進する。

活動指標名

草花等による緑化・重点管理路線数（内訳）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

43路線

43路線

100. 0%

順調

国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化（草花等）・重点管理を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画43路線に対し、実施43路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化（草花等）・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 年間を通して、生育の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように管理方法等、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら品質向上を図る。

年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、アレロパシー植物等の植栽を行い、道路景観の向上と維持させる取り組みを土木事務所や造園業者と連携して行った。

- 14 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	植栽後の雑草繁茂や病虫害の発生、夏場の乾燥などにより、良好な景観を維持するコストと労力の負荷が課題となっている。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	乾燥に強く防草効果を持ち、長期にわたり開花を繰り返す多年草などの植栽範囲を拡大することにより、後年の維持負担の軽減と年間を通じた良好な景観を創出する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○都市やグラウンド等の日陰づくり
主な取組	都市公園整備事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・都市やグラウンド等の日陰づくりを進め、紫外線による健康被害防止及び気候変動の進行に伴う熱中症被害防止を見据えたまちづくりの整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
災害時の避難場所、緑と触れあう憩いの場、レクリエーション活動の場としての都市公園整備を行う。	国,県,市町村	都市公園の整備推進		
		都市公園の供用面積(整備面積)(累計)		
		12.2ha	12.2ha(24.4ha)	12.2ha(36.64ha)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課		【 098-866-2035 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）					
(1) 取組の進捗状況					
(単位：千円)					
予算事業名		公園費（社会資本交付金）			
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
内閣府計上		直接実施		1,182,629	483,873
令和7年度活動内容					
県営都市公園事業において、用地取得や園路、広場等の整備を行った。					
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金（都市公園課市町村事業）			
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
一括交付金（ハード）		その他		649,939	848,926
令和7年度活動内容					
県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を16市町村に行った。					

予算事業名		公園費（社会資本交付金）	
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	904,484	
令和8年度活動計画			
県営都市公園事業において、用地取得や園路、広場等の整備を行う。			
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金（都市公園課市町村事業）	
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金（ハード）	その他	1,128,204	
令和8年度活動計画			
県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を行う。			

活動指標名	都市公園の供用面積（整備面積）（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	10ha（1,565ha）	12.2ha	82.0%	概ね順調	県営都市公園および市町村都市公園において、災害時の避難場所、緑と触れあう憩いの場、レクリエーション活動の場の創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備を行った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県営都市公園および市町村都市公園において、用地取得や園路、広場等の整備をしたことにより、都市公園の供用面積は目標値12.2haに対して10ha増加したため、達成割合は82.0%で進捗状況は「概ね順調」と判定している。 なお、実績の累計値は1,565haである。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。 ○ 整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。	○ 公園整備の効果を早期に発現させるため、土木事務所や市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら円滑な公園整備、部分的な供用開始に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	公園用地の取得に長時間を要することから、地権者等の同意が早期に得られるよう、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する必要がある。	② 連携の強化・改善	令和7年度までの進捗状況は概ね順調であることから、引き続き公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	引き続き整備効果の早期発現に向けて、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和7年度までの進捗状況は概ね順調であることから、引き続き整備効果の早期発現に向けて、部分的な供用開始に取り組む。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	住民参加型都市計画マスタープランの策定の促進		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
都市計画法に基づく市町村の都市計画マスタープラン及び地区計画策定等に向けた、地域の現状と課題に対する調査、住民意見の聴取、合意形成の活動等の取組を支援する。	県,市町村	都市計画区域をもつ21市町村における、住民参加型都市計画マスタープラン策定の支援		
		県・市町村調整会議数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレー ル課		【 098-866-2408 】	関連URL -

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

—

令和7年度活動内容

各市町村と都市計画マスタープラン改定に向けた調整を行った。
(浦添市、豊見城市、名護市)

(単位：千円)

予算事業名

—

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和8年度活動計画

今年度も引き続き、各市町村と都市計画マスタープラン改定
に向けた調整を行う。

活動指標名

県・市町村調整会議数（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

1回

1 回

100.0%

順調

3 市町と都市計画マスタープラン改定に向けた
調整を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

マスタープラン等の策定及び改定を検討する市町村と、適宜意見交換を行い、今後の都市関連施策の検討状況を把握できた。
本取組を進めることで、市町村のまちづくりに対する理解が深まり、住民にとってより身近で分かりやすいまちづくりに寄与する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

引き続き、マスタープラン等の策定および改定を検討する市町村と、適宜意見交換を実施し、立地適正化計画を策定している県内外の良好な事例を市町村へ情報共有することで、意識向上を図る。

マスタープラン等の策定及び改定を検討する市町村と継続して意見交換を行っており、浦添市において立地適正化計画が令和8年4月に策定される見込みである。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 （内部要因）	中南部都市圏においては、都市計画マスタープランの上位計画となる圏域マスタープランの検討を今後予定しており、まちづくりの方向性について関係市町村と共通認識を持つ必要がある。	② 連携の強化・改善	圏域マスタープランの検討にあたり、関係市町村との担当者会議を開催や、パブコメ等を実施することにより、コンパクト＋ネットワークの実現に向けた機運の醸成を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	土地区画整理事業等		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
都市計画区域内の土地について、土地区画整理事業を活用し、道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進を図り、健全な市街地形成を図る。	市町村,組合等	道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進		
		土地区画整理事業により整備された宅地面積(累計)		
		26ha	26ha(52ha)	26ha(78ha)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレー ル課		【 098-866-2408 】	関連URL —

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
沖縄振興公共投資交付金				沖縄振興公共投資交付金		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額		R8年度		
		R7年度 決算見込額		主な財源	実施方法	
一括交付金 (ハード)	その他	1,080,868	1,078,199	一括交付金 (ハード)	その他	1,400,924
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
宅地造成、道路築造および建物の移転補償等を行った。 (浦添南第一地区等 10地区)				前年度に引き続き、宅地造成、道路築造および建物の移転補償等を行う。 (浦添南第一地区等 10地区)		
予算事業名				予算事業名		
社会資本整備総合交付金				社会資本整備総合交付金		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額		R8年度		
		R7年度 決算見込額		主な財源	実施方法	
内閣府計上	その他	1,002,092	663,217	内閣府計上	その他	715,383
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
宅地造成、道路築造および建物の移転補償等を行う。 (西普天間住宅地区等 2地区)				宅地造成、道路築造および建物の移転補償等を行う。 (西普天間住宅地区等 2地区)		
活動指標名		R7年度				活動概要
実績値	土地区画整理事業により整備された宅地面積 (累計)	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	
				達成割合 A/B		
		—	—	12ha	26ha	46.2%
						大幅遅れ
浦添南第一地区等12地区の宅地造成、道路築造および建物の移転補償等を促進した。						

様式 1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度実績値は一部地権者の合意形成に時間を要していること及び事業の終盤に差し掛かっている事業が複数あることにより、成果指標の根拠となる使用収益の開始面積の減少となったことから、目標値を下回る結果となった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 土地区画整理事業については、複数年度継続して行われるため、定期的に住民説明会や個別訪問など行い、事業内容や必要性等への理解を得ることにより、地権者交渉を円滑に進める。 ○ 直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。 ○ 保留地を早期処分できるよう、工事および補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表の見直しするよう施行者に指導し、問題意識の共有を図る。	○ 住民説明会のほかに個別訪問など地権者合意形成の取組強化を指導することにより、地権者交渉を円滑に進められるようになった。 ○ 令和7年度に直接施行をした地区はないが、令和8年度以降に実施する計画をたてた工程とし、事業完了の目処がたった。 ○ 優先順位やクリティカルを反映した工程表へ見直しを行うことにより、保留地の早期処分が図られるようになった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	換地計画に基づき補償することから、換地先や補償金額に不満がある地権者との交渉を継続的に実施しているが、不測の時間を要している。	① 執行体制の改善	複数年度継続して行われるため、定期的に住民説明会や個別訪問など行い、事業内容や必要性等への理解を得ることにより、地権者交渉を円滑に進める。
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	住民ニーズの高まりにより、区画整理地区内における、無電柱化や擁壁の追加等が発生した場合、資金計画および事業計画の見直しが必要となり、事業完了が遅れる恐れがある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	移転協議が難航している物件がある場合は、直接施行移転(除去)等の検討し、目標とする宅地面積の達成に向けて施行者と連携を図る必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	保留地を早期処分できるよう、工事および補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表へ見直しするよう施行者に指導し、問題意識の共有を図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○身近な場所で充実した生活環境の創出
主な取組	街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、商店街や中心市街地の活性化により賑わいを創出するとともに、土地区画整理事業、市街地再開発事業、街路整備事業、公園整備事業等により、公共施設や宅地の一体的整備、土地の高度利用化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
安全で快適なゆとりある道路空間を創出するとともに、交通渋滞を緩和し、物流・交通流の円滑化を図るために、4車線拡幅、歩道の設置、緑陰の形成、無電柱化等を行う街路整備事業を推進する。	県	胡屋泡瀬線、真地久茂地線外1線、豊見城中央線外1線等の整備		
		整備済延長(累計)		
		0.1km	0.52km(0.62km)	0.8km(1.42km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL —

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ハード)

直接実施

1, 572, 450

1, 314, 857

令和7年度活動内容

真地久茂地線（工事等）、豊見城中央線（用地補償等）、那覇内環状線（工事等）、龍潭線（工事等）等の街路整備の実施。

予算事業名

沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ハード)

直接実施

2, 855, 611

令和8年度活動計画

胡屋泡瀬線（用地補償等）、真地久茂地線（工事等）、豊見城中央線（用地補償等）、那覇内環状線（工事等）等の街路整備の実施。

活動指標名

整備済延長（累計）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

0. 44km

0. 1km

100. 0%

順調

街路整備事業における対象路線の計0. 44kmが整備済みとなったとともに、真地久茂地線、豊見城中央線、那覇内環状線等の工事および用地補償等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

街路整備事業の対象路線の整備を実施し、伊差川線等の計0. 44kmが整備済みとなり、目標値を達成したことから、取組は順調と判定した。引き続き、安全で快適なゆとりある道路空間を創出に寄与する街路整備事業を推進する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

引き続き、執行会議等を実施し、課題や事業工程の共有を図り、早期効果発現に寄与するため、目標値の達成に向け工事進捗を図る。

令和7年4月に各土木事務所と執行も含めた会議を開催したほか、適宜、対象路線に関する調整を実施するなど、現状および課題等の把握に努めた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	令和7年度までの進捗状況が順調であることから、対象路線の早期の効果発現に向けて、支障となる課題等の把握とその解決手法を検討するため、各土木事務所との連携の強化を図っていく必要がある。	① 執行体制の改善	各土木事務所との執行会議等を開催し、対象路線の整備における課題や工程の共有を実施するなど、早期の効果発現に向けての事業進捗を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○道路空間の適正な管理
主な取組	主要道路における雑草・街路樹の適正管理		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・身体障害者、高齢者、子どもなど誰もが安全で快適に移動できる空間を創出するため、街路樹を含む歩道空間の適正な管理等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
主要道路において、除草や街路樹剪定等の植栽管理を実施する。	県	主要道路における除草や街路樹選定等の植栽管理の実施		
		年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数(内訳)		
		111路線	111路線(継続111路線)	111路線(継続111路線)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL
				-

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名	県単道路維持費					予算事業名	県単道路維持費
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
県単等	委託	1, 221, 298	1, 292, 405				
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
主要道路の111路線において、性能規定方式による道路除草管理を実施し、常に草丈を低く抑えることで、安全で快適な歩道空間の創出を行った。						主要道路の111路線において、性能規定方式による道路除草管理を実施し、常に草丈を低く抑えることで、安全で快適な歩道空間の創出を行う。	

活動指標名	年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数（内訳）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	111路線	111路線	100. 0%	順調	主要道路の111路線において性能規定方式による道路除草管理を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
主要道路のうち、安全上支障がない草丈が年中維持されている路線数は、計画111路線に対し、実績111路線であったことから、取組は「順調」と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 土木事務所や造園業者と意見交換や植栽管理の知見や技術力向上に資する研修会を行うことで、さらなる雑草の防除や街路樹の適正な管理のための体制強化を図る。	土木事務所や造園業者と意見交換や植栽管理の知見や技術力向上に資する研修会を行うとともに、さらなる雑草の防除や街路樹の適正な管理のための体制強化を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	主要道路における雑草・街路樹の適正管理について、土木事務所や関係協会などから取組のさらなる拡充が求められている。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	性能規定方式への街路樹剪定の包括化や複数年契約、表彰制度など試行し、土木事務所や関係協会と意見交換を行うことで、さらなる取組の拡充や街路樹の適正な管理のための体制強化を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	⑤公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進
			施策の小項目名	○公共施設等におけるバリアフリー化
主な取組	都市公園バリアフリー化支援事業		対応する成果指標	公共施設等のバリアフリー化適合率
施策の方向	・ 人と環境に優しいまちづくりを推進するため、公共空間等におけるユニバーサルデザインの導入に取り組む。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
高齢者、障害者等が円滑に利用できる園路、広場、駐車場等のバリアフリーに対応した都市公園の整備を行う。	県,市町村	バリアフリーに対応した都市公園の整備推進		
		都市公園のバリアフリー化率		
		38.6%	39.3%	40.0%
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課		【 098-866-2035 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名	公園費（社会資本交付金、公共投資交付金）					予算事業名	公園費（社会資本交付金、公共投資交付金）
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
内閣府計上	直接実施	1,376,015	688,807				
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。						県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行う。	
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（都市公園課市町村事業）					予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（都市公園課市町村事業）
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
一括交付金（ハード）	その他	649,939	848,926				
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。						県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行う。	

活動指標名	都市公園のバリアフリー化率		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。また、県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。
	—	—	42.5%	38.6%	100.0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の取組により、都市公園のバリアフリー化率は42.5%となり、目標値の38.6%を上回ったことから、取組の進捗は「順調」とは判定している。なお、高齢者、障害者等が円滑に利用できるようバリアフリーに対応した園路、広場、駐車場等を整備をしたことにより、利用者の利便性向上が図られている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 利用者の多い公園や利用頻度の高い施設を選定して施設整備するほか、更新時期を迎えた老朽化施設の改築に際しても、緊急度優先度を勘案して、引き続き効率的かつ効果的な整備を推進する。 ○ 施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。	○ バリアフリー化への対応については、地元等の関係者と協力しながら、バリアフリー化対応施設の優先度を勘案し整備を推進したことにより、令和7年度の実績値は42.5%となり、目標値である38.6%を上回ることができた。 ○ 施工方法や施工時期について、早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進したことで、公園利用者の利便性向上に寄与した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	バリアフリーに対応する公園施設整備のほか、老朽化した公園施設の改築、更新の際にバリアフリーに対応させる等、引き続き効率的かつ効果的な整備が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和7年度までの進捗状況は順調であることから、引き続き利用頻度の高い施設や更新時期を迎えた老朽化施設の改築についても、優先度を勘案して、効率的かつ効果的な整備を推進する。
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者と調整を行い、合意形成を図る必要がある。	② 連携の強化・改善	令和7年度までの進捗状況は順調であることから、引き続き施工方法や施工時期について、早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。